



LD等発達障害児・者親の会

「けやき」機関紙

第121号

2020年7月発行

発行者・代表 廣瀬登士子

けやきホームページ URL [http:// keyakitokyo.web.fc2.com/](http://keyakitokyo.web.fc2.com/)

## 新年度のご挨拶

廣瀬 登士子

今年度も引き続き代表を務めさせていただくことになりました。どうぞ宜しくお願いいたします。

2020年度の活動が始まりましたが、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、4月の総会もメールによる決議に変更いたしました。お手数とご面倒をおかけしたにもかかわらず、会員の皆様には快くご協力いただき、本当にありがとうございました。

東京では一旦下がった感染者数も上昇傾向にあり、会員が集まる形での活動は行にくい状況が続きそうです。今年度の活動をどのように進めるべきか、なかなか判断が難しいところもあるのですが、顔を合わせる回数は減っても活動が途絶えないよう、工夫をしながら進めていきたいと思っております。

今年度は、以下の活動を計画しています。

(1) 東京都への要望書提出

(2) 「けやき案内」の改訂

(例年世田谷の「にんじん村」さん、東京東部の「ルピナス」さんと一緒に開催しておりました「合同勉強会」は、状況を鑑み、中止とさせていただきます。)

(1)の要望書については、現在内容を検討中です。メーリングリストでもご連絡差し上げましたが、ご意見・ご要望を是非お聞かせください。今だからこそ「伝えたい、聞きたい、お願いしたい」も盛り込めたらと考えています。

(2)の「けやき案内」も、現状に合わせたものに変えていく予定です。こちらでも載せてほしい内容がございましたら、遠慮なくお知らせください。

また、メーリングリストを使った情報交換等も随時行っていきます。

急激な変化の中で、リズムが崩れて辛い思いをされている発達障害者や家族も多いと聞きました。親の会の存在がそのような方々の助けになるようにと願います。



## 全国LD親の会第13回総会 報告

日時：2020年6月20日（土）10時～11時15分

場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター 中会議室2

第13回総会は大阪の2団体のみ会場に集合し、その他の会はZoomを利用して参加する例年とは違った形となりました。

### （1）第1号議案 2019年度事業報告

①活動：◆日本LD学会第28回大会参加（親の会企画シンポジウム）、各親の会ポスター展示

◆「LD等の発達障害のある高校生の実態調査報告書Ⅲ」の発行、全国LD親の会設立30周年記念「子育てブックレット」の作成を企画

◆研修会「発達障害のある高校生調査報告」の開催、全国青年交流会（江戸東京博物館訪問、両国散策、懇親会）の実施

◆文科省、厚労省に2020年度予算要望書を提出、「発達障害に関するネットワーク推進委員会」等の会議に参加、「アジア太平洋リハビリテーション国際会議」（マカオ）のパネルディスカッションに登壇等。

### （2）第2号議案 2019年度決算報告および監査報告

### （3）第3号議案 2020年度役員選任

①理事・幹事 ⇒ 非改選、評議員 ⇒ 関東ブロックより1名増員（評議員候補）以上、3議案とも満場一致で可決・承認されました。

### 【理事会決議事項】 2020年度の活動方針等

#### （1）LD等の発達障害に関する研究事業

①日本全国LD学会第29回大会参加 ⇒ 今年度の大会はweb開催。

②合理的配慮と基礎的環境整備についての事例検討

#### （2）LD等の発達障害に関する理解啓発事業

①全国LD親の会第19回公開フォーラム ⇒ 2021年2月に北九州で開催予定

②「子育てブックレット」の発行、等

#### （3）LD等の発達障害のある人及び家族等への支援事業

①発達障害研修会・相談会開催（千葉県銚子市）

#### （4）LD等の発達障害のある人に対する支援・制度の充実に向けた事業

①2021年度予算要望書の提出

②関係団体との連携や省庁における検討委員会への参加、等。

今年度の「青年のつどい」は中止となりました。毎年総会翌日に開催されていた「公開フォーラム」も2月に延期、LD学会もweb開催ということで、新型コロナウイルスの影響の大きさを改めて感じました。 (TH)

## 関東・東北ブロック会議 報告

日時：7月12日（日） 13：00～15：30

参加：全国LD親の会理事長、副理事長、評議員、関東13会代表者等 計19名

感染者数が再び増えてきているため、オンライン（Zoom）で開催されました。

### 【1】全国LD親の会関連

#### （1）2020年度事業について

- ◆公開フォーラムの開催 ⇒ 会員向けにweb配信予定（無料）

日時：2021年2月21日（日） 9時40分～16時

テーマ：「共生社会における多様なコミュニケーション～発達障害児・者が社会とつながるために」

- ◆第29回日本LD学会大会 ⇒ 10月9日（金）～11日（日）webを用いて開催。

- ◆全国特別支援教育推進連盟協議会 ⇒ 中止

#### （2）緊急事態宣言下での状況アンケート

発達障害児（者）にとってよりよい「新しい生活様式」を考えていくため、自粛期間中の発達障害児（者）の様子や状況について、7月と9月にアンケートを実施する予定。回答を基に全国研修会を行いたい（11月頃。）

#### （3）Zoomの利用について

全国LD親の会はZoomと契約しており、各ブロック理事を通して申し込み、各会の定例会や講演会等の行事にも利用可能。

### 【2】関東・東北ブロック関連

#### （1）関東・東北ブロックZoom会議（追加）の実施

9月後半～10月に予定。テーマを決めてフリートークとする。

参加を希望される方や話題にしたいテーマがございましたら、廣瀬までお知らせください。

#### （2）次回定例会議の日時、開催場所、開催方法は未定。

（担当会：いなほ、いちえ会）

### 【3】各会の活動報告

- ◆緊急事態宣言以降、各会とも予定していた活動や勉強会等の開催を中止・延期せざるを得なかった。

- ◆8月頃活動再開を予定している会もあるが、感染状況は都道府県によって違うため、Zoom、メーリングリスト、LINE等を利用して会員交流を行っていく会も多い。

- ◆今年度は大勢を集めた講演会や相談会等の開催が難しく、その他の活動も制限されてしまうため、新規入会や継続会員が減少するのが心配。

- ◆けやきからは活動報告の他に、3月に東京都が発行した「発達障害者支援ハンドブック2020」についてお話をしました。 (TH)

## 東京LD親の会連絡会総会 報告

総会はメールによる決議となりました。新型コロナウイルスの影響で、暫くは会員が集合するような活動は難しいと考えられることから、今年度の合同勉強会は中止し、東京都への要望書提出と発達障害者支援地域協議会への出席を中心に、活動を行うことに決まりました。(TH)

◎要望書関係分担：

にんじん村（産業労働局）、ルピナス（教育庁）、けやき（福祉保健局）

◎発達障害者支援地域協議会（委員として出席）：ルピナス

## ポーレポーレ活動報告

今年度第1回目のポーレポーレの集まり（4月）はコロナ感染症の影響で中止となり、以降5月、6月の活動はZoomを利用したオンライン集会となりました。当日の様子をボランティアの方が以下のようにお知らせくださいました。

### ●2020年 5月10日（日）

今回は、オンライン活動に、メンバー4名の方の参加がありました。オンラインの話し合いにはまだ慣れない部分もありつつ、新鮮な気持ちで会話を交わったのが良かったです。みなさん、職場への行き方や、休日の過ごし方などを工夫していると、語っていました。

### ●2020年 6月14日（日）

今回は、オンライン活動に、メンバー5名の方の参加がありました。40分程度の短い時間でしたが、近況を報告し合えて、とても良かったです。近況報告では、この間の、仕事のしかた、休日の過ごし方を工夫して過ごしていることの語りがありました。また、自宅で過ごす中で、ゲームをしたり、本を読んだり、テレビで野球観戦をしたりしていることなどの話もありました。映画館で映画を観に行きたいとの声もありました。

～。～。～。～。～。～。～。～。～。～。～。～。～。～。～

### ○感想

初めてZoomを使うので、難しいかと心配しましたが、案外簡単でした。久しぶりにメンバーの顔が見られて、たくさん笑って楽しかったです。

7月の活動は、7月19日（日）に1時間程度、オンライン集会で、8月以降の活動の内容を話し合う予定です。オンライン集会はこういった状況下で大変有効ですが、長い時間をかけて育んできたポーレの活動がおこなえないのは少し寂しいです。早く、みんなで顔を揃えて近況報告できる通常に戻りたいものです。

# 令和元年度第二回東京都発達障害者支援地域協議会 報告

日時：2020年2月12日（水）午後6時～午後8時

場所：都庁第二本庁舎31階 特別会議室27

## （1）令和元年度発達障害者支援事業の実施状況について

### ◆東京都の報告

- ①TOSCA 運営事業 ⇒令和2年度も引き続き実施。
- ②発達障害者支援体制整備推進事業 ⇒発達障害者支援地域協議会開催、シンポジウム開催、専門定期人材育成の研修や講演会の実施、発達障害者支援ハンドブックの改訂等を実施。
- ③ペアレントメンター養成・派遣事業 ⇒将来的には各区市町村の独自事業とする。
- ④区市町村発達障害者支援体制整備推進事業 ⇒早期発見・早期支援を38区市、成人期支援を12区市で実施。

### ◆TOSCAの報告

- ①相談者 ⇒相談者数は昨年度とほぼ横ばい。18歳以上の青年期～成人期の相談が多数を占める。
- ②学齢期では教育との連携に課題を持つ自治体が多い。成人期では課題意識はあるものの、取り組みの差異が見られ、仕組み作りを模索中の自治体が多い。
- ③研修会 ⇒区市町村職員向け発達障害基礎研修、支援困難事例検討会、発達障害者支援者育成講座等を実施。
- ④地域連携会議 ⇒近隣地域ごとに支援状況等について情報や意見を交換。
- ⑤ペアレントメンター派遣事業 ⇒メンター登録者96名、活動状況146件。メンター養成研修2回開催。

### ◆晴和病院の報告

- ①成人期発達障害者生活支援モデル事業 ⇒発達障害専門プログラム導入を希望する医療機関への個別導入支援を実施。

## （2）令和2年度東京都における発達障害児（者）支援事業について

- ①発達障害者支援体制整備推進事業 ⇒一部拡充。成人期発達障害対応力強化研修（仮称）、区市町村への困難事例についてのスーパーバイズを追加。
- ②発達障害専門医療機関ネットワーク構築事業（新規）⇒地域での発達障害の診断待機を解消するため、専門性の高い医療機関を中心としたネットワークを構築する。

## （3）出席者からの取り組み報告

出席した各機関・親の会等から取り組みの報告がありました。東京LD親の会連絡会からは、昨年11月に行った三合同勉強会と、都への要望書提出・意見交換会の内容や様子をお話しました。 (TH)

## 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う 自粛期間中の様子について～①

3月始めに通過型グループホームで一人暮らしを始めましたが、生活に慣れ始めた頃に緊急事態宣言が出て、勤務状況や仕事内容も変わってしまいました。短い間に大きな変化が続いたので、せっかく安定してきたリズムが崩れないかと心配しましたが、ホームの職員の方や会社のジョブコーチの支援、本人の工夫もあって、今のところは仕事と生活のバランスが上手く取れています。しかし、職場の環境が変わる中で、これから先の仕事については心配があるようです。息子は郵便物の集配を担当していますが、今後はリモートワークでオンラインのやり取りが増えていくので、郵便物が減って自分の仕事がなくなるのではないかと気にしています。(TH)

\*\*\*\*\*

我が家は、コロナウイルスにかかりやすいといわれている喘息、高血圧、糖尿病予備軍と3人が持病を持っています。5月初めに主人は軽い熱が出て、一人暮らしの息子(本人)に食事を届けられない事態になりました。その後、今後の暮らしを話し合い、息子は我が家の隣のアパートに引っ越しをしてきました。「親に面倒を見てもらっているとされるのは嫌だ」とずっと言い続けた息子。引っ越しの荷物の中にはコロナ対策の買い置きした物が沢山入っていました。通勤寮、グループホームそして14年間のアパート暮らしの修業を終え、これからは、お互いに安心した生活をしながら、仲の良いお隣さんとしてお付き合いをしていきたいと思います。(K.N)

\*\*\*\*\*

息子はB型事業所の喫茶店で週5日働いていましたが、緊急宣言がだされて時短となってしまいました。でも、たまたまグループホームへの入居が始まったばかりだったので、生活の確立の方に時間を使うことができ、まあよかったということにしました。お客さんが少ないからサクラで来てよと言われることもあり、実際は飲食店なので影響は少なくはなかったと思います。また、地域支援センターなどの支援が休止か限定的になってしまったり、習字の教室が休講になったりと、人と交流する機会がめっきり減って、つまらなかったと思います。そんな中、ポーレでオンラインミーティングを開催してくれて本当に助かりました。(TM)



## 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う 自粛期間中の様子について～②

大型連休から引き続きの自宅待機となり、元気（健康）な本人は世の中の状況に関係なく「ウキウキ」の生活を送った。5月中旬以降、週1～2の午前勤務⇒週2～3の全日勤務と徐々に時間を取りながら、7月1日より平常勤務に戻っている。幼少時から、急な変更等には強く拒否感を示すところがあったが、変則な勤務時間にも抵抗なく順応できたのは、本人の成長もあると思うが・・・、勤務先の配慮が大きいと感謝している。「テーマパーク再開」のTVニュースに、「当分行けないね」とつぶやいていたが、今しばらくコロナ対策に気をつけながら過ごしてほしいと思っている。 (MS)

\*\*\*\*\*

コロナ禍の中、製造業に従事している息子は普段と変わらない勤務形態でした。課題は休日の過ごし方でした。家より外の息子にとっては趣味のスポーツや友人との交流ができなくなり、どのようにストレスを発散させるか案じていました。不満を漏らすものの、スポーツは家でのトレーニングとジョギングに切り替え、友人とはラインでのお喋りと飲み会で部屋からは笑い声が聞こえてきました。コロナが終息するにはまだまだ時間がかかりそうです。社会状況が変化する中、今後も息子を見守っていきたいと思います。 (MN)

\*\*\*\*\*

このコロナ禍では、あらゆる業種が影響を受けていますが、子供の勤め先は直撃を受けた形の宿泊業。結局4月半ばから1ヶ月半の休業でした。給料は9割出たようで、家族とのんびり過ごしたようです。親も東京から出られない状態なので、ラインや電話で確認するしかなく、実際に顔を合わせ、生活状況も見たい、という気持ちが親の方に大きかったです。（現在進行形ではあります。）これからも、まだこの状況が続くようなので、普段は遠くから見守る、何かあった時だけ相談にのる、という態勢に親自身が慣れていかなければいけないと、思いました。 (YA)

\*\*\*\*\*

週に2日間出勤し3日間は在宅勤務する体制でした。最初の週は、在宅勤務でありながら何の仕事もなくただ家にいる状況でした。2週目から課題が出されてこれに取り組むのですが、本人にとっては簡単なものだったので、すぐに終わってしまい、ゲーム三昧で日々を過ごす状況でした。しかし、土日には友人と出かけて気分転換をしているようでした。親としては、自粛宣言を無視する行為のため注意をしましたが、メンタルケアを考えると複雑な思いでした。 (MT)

## 日本LD学会第29回大会について

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、今年度のLD学会はwebを用いたオンライン学術集会として開催されることになりました。実施の詳細は随時決定後に日本LD学会ホームページに掲載（会員の方にはメールで通知）されますので、参加を検討されている方は、ご注意ください。

日本LD学会第29回大会HP

：<https://confit.atlas.jp/guide/event/jald29th/top>



### 《本の紹介》

#### 1. 「障害のある子の住まいと暮らし」

著者：渡部 伸（『親なき後』相談室主宰） 主婦の友社 1,600円  
現在障害のある子どもの住まいとして選べる「場」にはどのようなものがあるのか、一人暮らしの場合はどのような支援を受けることができるのか、全国から実例を取り上げています。東京都からも、『生活に少しサポートがあると暮らしやすくなる人向けのシェアハウス（練馬区）』、『サテライト型グループホーム（八王子市）』等の例が載っています。将来の住まいについて、子どもと一緒に考える助けになるかも知れません。 (TH)

#### 2. 「ちょっとしたことでうまくいく」シリーズ 翔泳社

- ①「発達障害の人が上手に働くための本」 對馬陽一郎著
- ②「発達障害の人が上手に暮らすための本」 村上由美著
- ③「発達障害の人が社会の人間関係で困らないための本」 對馬陽一郎・他著
- ④「発達障害の人が上手にお金と付き合うための本」 村上由美著

### 《編集後記》

新型コロナウイルスにより、世界的に生活様式の見直しが始まっています。その中で、発達障害者はこの変化にどのように対応し、どのように生活を維持して行くのが問題となってきています。また、経済活動が様変わりすることにより、障害者雇用の環境も変わってくるものと思われます。その移り変わりを見守りつつ新たに親なき後のことを考えていかなければならなくなりました。 (MT)